

「瀬戸市子ども読書活動推進計画（第三次）（案）」
パブリックコメント実施結果について

1 実施状況

- (1) 実施期間 平成31年2月9日（土）～3月10日（日）
- (2) 公表（閲覧）場所
図書館、情報ライブラリー（パルティセと3階）、
市政情報コーナー（市役所1階）、教育政策課（市役所3階）、
健康課（やすらぎ会館4階）、支所、市民サービスセンター
図書館ホームページ <http://www.lib.seto.aichi.jp>
- (3) 広報等
広報せと 2/1 号に記事掲載
市HP及び図書館HPに記事掲載
瀬戸市教育委員会1月定例会（1/17）に実施について報告
瀬戸市図書館協議会（2/1）に実施について報告
瀬戸図書館友の会世話人会（2/9）に実施について案内
瀬戸市社会教育委員会会議（2/22）に実施について報告
瀬戸市小中学校長会議（2/28）に実施について報告
瀬戸市立図書館活動ボランティア等関係者へ実施について案内

2 意見募集結果

- (1) 提出された意見書
5件
- (2) 意見の件数
19件
- (3) 意見の種類

①計画全体に関する意見	2件（うち、計画案を修正0件）
②主な取組に関する意見	7件（うち、計画案を修正0件）
③表記・表現に関する意見	8件（うち、計画案を修正7件）
④その他	2件

3 計画（案）への対応

- ・用語の統一・表記に誤り等が認められた箇所を修正
- ・計画内容の変更はなし

「瀬戸市子ども読書活動推進計画(第三次)(案)」への意見と市の考え方・対応

意見書№	意見№	意見該当ページ等	意見	市の考え方・対応
1	1		図書館の照明が暗すぎて文字が読めない。 図書館での読書が視力の低下になる。	図書館の環境整備に関する参考意見とします。
2	2		①読書感想文改革→教職員との議論が無ければ変わりません。 誰のために、何のために感想文を書くのか、何のために本を読むのか。手段と目的が混在している。時代に合わない。(Society5.0) (案)小説だけでなく、評論文をプレゼンするという形式の方が「考える力」「発信する力」「聴きとる力」が向上する。	読書感想文に関する参考意見とします。
	3	P21【211】 「地域図書館の増設・充実」 P22【224】 「学校図書館の整備」	②各学校において図書室利用可能時間を長くする。 司書さんは既に引退(退職された方)や司書を目指す学生を活用する。費用は自治体をお願いします。 また、卒業生から不要となった学習参考書や高校入試過去問題集を集め、図書館に設置。(瀬戸市立図書館と各学校で回収(再)分配)各 学校図書室)近くの教室で必要に応じ、個別指導を行う。(このなかで、国語力・論理力向上のための図書活用、読書活動) 人材は、対人コミュニケーション力・学力・人間性に優れた大学生、教職志望者、地域の経験豊富な年長者による。 ②の案は学力向上・教育格差の是正としての側面が強いです。	地域図書館開設の学校図書室は、土日祝日の10時から15時まで一般開放しており、週1回、図書館から司書の派遣をおこなっています。 学校図書室の充実については、計画の主な取組の「地域図書館の増設・充実」及び「学校図書館の整備」に位置付けています。
3	4	<表記・表現について> P2(2)瀬戸市の動向一つ目の●4行目 ……充実等を目指す…	こと同じように、P16やP21では【施策が目指す…】と漢字の「目指す」ですが、P24は【施策がめざす…】となっています。いいでしょうか。	「目指す」で統一します。 修正2(P3・P24)
	5	<表記・表現について> P5(1)社会状況の3～4行目 ……視覚的な情報と言葉の結びつきが…P16基本目標1【施策の目的】2つ目の●…高校生の自主的な…【施策が目指す将来の姿】1つ目の●幼児から高校生まで…P22【222】図書館等における中高生向けコーナー 中高生の関心や…P24【施策が目指す将来の姿】1行目	私の読解力の問題だとは思いますが、この文章の言い回しがよくわかりません。 「視覚的な情報と言葉との結びつき」との表現からは、この計画では「言葉は視覚的な情報ではない」と考えているように受けとられかねません。手語は視覚言語です。計画の趣旨と矛盾しないでしょうか。また、「文章の内容を読解する」とありますが、この表現からは「内容を読解することになるように思え、寂しい感じがします」「文章を読解する…」の方が自然な気がします。また、「文章から内容を読み取る機会が少なくなってきた」と感じています。」と伝えたいのかなあと勝手に思っています。読み手の勝手な解釈をできるだけ避ける表現にしていたらと思います。	国の計画の基本方針から該当部分を要約して掲載しましたが、ご意見のとおりわかりづらいため、原文を引用した表記に修正します。 修正1(P5)
	6	<表記・表現について> P11(1)年齢に沿った取組の成果と課題①乳児6つ目の●…図書館まわりの催事として…	ここ、P22【213】自動車文庫での「遠隔地や子ども向け催事…」では、「催事」となっていますが、P26 1計画の周知4行目は…イベント等…となっています。「催事」と「イベント」は同じことのように思いますが…。「催事」と「イベント」の使い分けの意図があれば、その意図がわかるような表現をしていただけたらと思います。	「催事」に統一します。 修正1(P26)
	7	<表記・表現について> P13(3)子どもや市民の読書活動への関心を高めること 2つ目の●2行目 不読率の改善が…高校生…P16基本目標1【施策の目的】2つ目の●…高校生の自主的な…【施策が目指す将来の姿】1つ目の●幼児から高校生まで…P22【222】図書館等における中高生向けコーナー 中高生の関心や…P24【施策が目指す将来の姿】1行目	「高校生」、また、「中高生」と限定した表現を使うこと、P4にある「計画の対象は、おおむね18歳以下の子ども…」と矛盾しないでしょうか。この計画を知った高校生(中学生)と同じ年齢で、高校生(中学生)でない子どもやその親御さんが、どんな気持ちになるか心配です。4-1で書いたことと同様に、専門学校や専修学校に通う子ども、あるいは就職している子ども、そして、いわゆる引きこもりの子ども等も網羅するような表現をしていただけたらと思います。	調査や取組の対象が学校を通じたものである場合の表記については、「高校生」、「中高生」のままとします。 P16及びP24の「高校生の時期」にあたる表記については、「高校生期」に修正します。 修正3(P16(2)・P24)
	8	<表記・表現について> P18【143】 「図書館利用のバリアフリー化」LLブック等読書に障害がある…	「ようがい」の表記は、この他に、「P20図表3-2 図書館の ※読むこと等に障害のある…」、「P29LLブック2行目…知的障害や学習障害…」のように「障害」とすると、「P29バリアフリー化1行目は…高齢者や障がい者…」と、「障がい」とするところがあります。統一した方がいいのではないのでしょうか。 社会福祉課は、「瀬戸市障害福祉基本計画に対する意見募集の実施結果」の中で、「障害」の「害」の字の取り扱いについて、次のように答えていました。 本市における「障害」の「害」の字については、国や県と同様に漢字での表記としています。	「障害」に統一します。 修正1(P29)
	9	<表記・表現について> P21【211】 「地域図書館の増設・充実」 小中一貫校に…	新設の小中一貫校は、校名も決まり、市民にも公表されているので、「小中一貫校」と書くよりも「校名」を書いたらどうでしょうか。	「小中一貫校」に「じの丘学園」に修正します。 修正2(P12・P21)
	10	<表記・表現について> P30不読率 1か月の間に1冊も本を読まなかった割合	「1か月の間に1冊も本を読まなかった人数の割合」というような表現はどうでしょうか。	国の表記に準じ、「1か月に1冊も本を読まなかった人の割合」に修正します。 修正1(P30)
	11	<内容について> P21【211】 「地域図書館の増設・充実」	1 はじめに 昨年10月下旬から2月上旬までの3ヶ月ちよつと、娘が出産のため3歳の孫(男の子)と借宿しています。孫が本が大好きなため、毎週のように孫と一緒に図書館(地域図書館)にも出かけ、1時間ほど一緒に本を読んだり、借りたりする生活が続きました。図書館が家の近くにあるので、本に立ち寄りやすかったです。しかし、私が読みたい本には、全く接することができませんでした。この3ヶ月間、本は、私にとって物理的には身近にありましたが、精神的には身近にはなかったように思っています。 瀬戸市子ども読書活動推進計画(第三次)(案)の「基本目標2 子どもの読書活動を推進するための環境整備」の【施策の目的】の1つ目の●にある「身近な場所」に本がある環境を整えます。」には、大変感です。このことについて、「身近」をキーワードに、先ほど書いた私の状況をともに考えたことをお知らせします。ご検討ください。 2 身近な場所」に本がある環境を増やすこと～地域図書館の増設～ まず、この計画では地域図書館を7館とありますが、次のようなことから、この数(地域図書館数)を増やすことはできないものかと思っています。 平成27年7月の瀬戸市公共施設白書から、平成28年3月に示された図書館整備基本構想17ページには、次のように書いてあります。 公共施設白書 「瀬戸市公共施設白書」においては、今後の公共施設整備にあたって、「他用途への転換」「機能の複合化(廃止・統合・多機能化、集約化)」「民間活力の導入」をうたっており、基本構想においても考慮しています。 また、28年8月に行われた第1回瀬戸市小中一貫校施設整備委員会資料には次のようなことが書いてあります。5小学校・2中学校を統合し、平成32年4月の小中一貫校開校を目指し、準備が進められており、小学校の跡地利用について、左のように、これまで「機能1施設型」だった諸施設を「機能を減らす複合型へ転換」し、地域コミュニティの拠点として行くことを考えていることがわかります。廃校となる5つの小学校を地域図書館の機能を持つ施設として行くことは、第6次総合計画をはじめ、瀬戸市の様々な計画に沿うものになるように思いますし、「身近な場所」に本がある環境を整えます。」には、ヒッパリだと思っています。ご検討ください。 (孫と地域図書館に出かけたとき、寒い時期は、幼児用のスリッパがあるといいなあと思いました。)	ご意見を参考に、計画に記載のとおり地域図書館の増設・充実引き続き取り組んでいきます。
	12	<内容について> 計画全体	3他機関等との連携 ～図書館が取り組むことと他機関が取り組むこと～ 「身近な場所」に本がある環境を整えます。」は、実施計画のアンケート項目に「読書が好きか嫌いか」との質問があり、その答えをもとに実施と課題を分析しているように思いました。しかし、私が、昨年10月下旬から2月上旬までの3ヶ月間、本を読みたくても読めない状況だったことは、先ほど書いた通りです。時間的な余裕の有無が読書量に「関係」し、「本が好きか嫌いか」とは、必ずしも一致しません。「2 身近な場所」に本がある環境を増やすこと～地域図書館の増設～では、「物理的に身近な読書環境を整備すること」について書きましたが、ここでは、「時間的な余裕の有無をはじめ、物理的ではない読書環境を整備すること」について考えたことをお知らせしたいと思います。 本の読めない状況は、読まなかったり読む方々の時間的な余裕をなくしていること等の要因には、様々なことが考えられることと思います。文部科学省のHPには、2017年9月に行われた「第2回子供の読書活動推進に関する有識者会議」の資料の一つとして、ベネッセが実施した「子どもたちの読書活動の現状」が載っています。その後、19ページには「読書と読書環境」として、左のようになっています。 平成28年12月の中教審初期中分科会での資料には、「所得をはじめとした家庭の社会的経済的背景と学力」には明らかな相関関係が見られ、「家庭の経済事情によって、子供の読書活動をしている割合に差が生じている。」とありました。また、平成29年度に行った全国学力・学習状況調査の追加調査として行った「保護者に対する調査」の結果から、家庭の社会的経済的背景と学力の関係を分析した結果を、国立教育研究所が公開しています。「家庭の蔵書数と子供の学力」との項目の箇所に、次のようなことが書かれています。 …蔵書数が多い家庭ほど、子供の学力が高いことがわかる。…「家庭にある子ども向けの本の数」…子供の本に関しても、蔵書数が多い家庭ほど、子供の学力が高いという傾向を見ることができると…た、ここで注意しておくべきことは、家庭の蔵書数や子供の本の数は、その家庭の社会的経済的背景と関係が強いことである。 「身近な蔵書数」を保障することについては、本計画の「身近な場所」に本がある環境を整えます。」の「基本目標2 子どもの読書活動を推進するための環境整備」の【施策の目的】で、図書館としての考えを示しています。瀬戸市の子どものための家庭の社会的経済的背景と読書との関係はどのようなのでしょうか。図書館として、家庭の社会的経済的背景を改善する取組がどの程度可能なかわかりません。しかし、その現状を把握する努力や情報発信は必要に思っています(すでに取り組まれているらっしゃって、私が知らないだけかもしれませんが)。それは、図書館として取り組むことだけでなく、他の部署や機関が取り組むことが何かを示すことに繋がるとも思うからです。(例えば、虫歯の治療率と不読率との関係はどのようなか、等です。)ご検討ください。	ご意見の読書活動に関する現状の把握や推進のための関係機関との連携については、重要と認識しており、今後、計画全体や個々の取組を推進する上で参考にします。

意見書No.	意見No.	意見該当ページ等	意見	市の考え方・対応
4	13	P22【224】 「学校図書館の整備」	<p>【学校図書館の整備】(人的環境を含む)について、以下、意見を述べます。</p> <p>記</p> <p>1 早急に小中学校の図書標準の達成率(以下、達成率)を、100%以上にすること。</p> <p>①これまでも、達成率100%以上を目指しているが、達成できていない学校が多数存在する。</p> <p>②しかも、現在蔵書している図書(つまり、達成率算出の蔵書数)には、全国学校図書館協議会が示す「廃棄基準」からすれば、明らかに廃棄されていなくても含まれているのではないかと疑われる。</p> <p>(例)2017.5、水野小学校図書館で確認した図書。</p> <p>③『図説学問 日本の歴史』～9 昭和54年12月24日付蔵書印あり</p> <p>④『学習日本史図鑑』1～10 発行=昭和55年4月20日</p> <p>⑤『教科書に出ての法律と政治』1～12 発行=1984年4月</p> <p>⑥『わたしたちの日本』シリーズ 発行=1984年3月25日</p> <p>⑦『調べ学習にやっつけたわたしたちの生活と産業』1～10 発行=1995年8月、等々。</p> <p>これらの図書は、全国学校図書館協議会の定める「学校図書館図書廃棄基準」に照らせば、とっくの昔に廃棄されるべき図書である。子どもが日常的に閲覧可能な書架に並べ、社会認識において誤解を与えてはならない。(仮に学校として何らかの意図をもって保管するならば、図書準備室等に保管すべきである。学校図書館運営上の常態である。)</p> <p>(上記状況が改善されていることを強く望むが)おそらく、このような状況は、水野小学校に限ったことではないのではないかと。</p> <p>⑧つまり、まず各学校で廃棄対象図書を除き、正しい達成率を算定し、その上で、どのように達成率を向上させていくのか、真剣に考える必要がある。</p> <p>例えば、図書に関する予算配分も、現状のように、単純に児童生徒数割で予算配分しているも、達成率150%の学校と70%の学校の格差は、なかなか埋めることはできないし、70%の学校を100%にすることもできない。一例として、(児童生徒数割+達成率考慮)の予算配分を行っている市もある。この方式の方が合理的ではないか。</p> <p>⑨さらに、達成率100%を超えている学校についても、本当に蔵書数増加・充実の反映として100%を超えたのであれば大いに賞賛すべきであるが、実は、単に学級減による「効果」として数字上100%を超えたのではないかと疑われる。</p> <p>⑩よって、実態を十分把握し、その上で達成率を高める具体的な計画を明確にするべきである。</p> <p>⑪『瀬戸市子ども読書活動推進計画(第二次)』(平成26年4月)には、「施策」=「学校図書館の整備充実を図る」</p> <p>「施策の具体策」=「引き続き学校図書標準の充実(質量と量)を図る」とあった。</p> <p>学校図書館の環境整備は、学校教育にとって非常に重要である。まず、「質量と量」に、どの程度充実したのか、或いはしなかったのか、その理由はどこにあったのか、市民に分かりやすく示した上で、新たな計画を提案していただきたい。</p>	市の考え方・対応
	14	P22【224】 「学校図書館の整備」	<p>2 学校図書館の人的環境を整えるという方向性を明確にすること。</p> <p>学校図書館において、司書等の人的環境の整備が重要であることは、言を俟たない。学校に司書等を置くことの有効性は、様々な報告が示すところである。</p> <p>①学校司書の配置を計画的に進めること。</p> <p>・学校図書館従事者が述べているように「専任・専門・正規」職員であることが必要である。</p> <p>②百歩譲って、学校司書、正規職員の採用が難しい場合でも、何らかの形で、「人」のいる学校図書館にすべきである。</p>	ご意見の学校図書館の整備における人的環境の充実の必要性は認識しており、引き続き取り組んでいきます。
	15	計画全体	<p>3 あらためて、学校図書館法の施行(1954年)から、これだけ長きを経ながら、そして学校図書館の重要性が繰り返し確認されながら、なぜわが市の学校図書館が「貧困」(?)状態なのか、「推進計画」策定、今後の計画推進にあたり、十分な審議をお願いしたい。</p>	計画は、「瀬戸市子ども読書推進計画策定委員会」の審議を経て策定しました。また、計画推進の進捗管理については、「瀬戸市子ども読書活動推進協議会」を通じ行います。
	16	P22【224】 「学校図書館の整備」	<p>4. (上記1.に関連して)2018.11.7に開催された第2回瀬戸市子ども読書活動推進計画(第三次)策定委員会の議事録によれば、涌井康宣委員長は、次のように述べている。</p> <p>(4頁)少し時間に余裕があるので、会議の進行を事務局に戻す前に一言、小中一貫校のPRをさせていただく。小学校5校と中学校2校を一つの学校に統合し小中一貫教育をするにじの丘学園は平成32年4月の開校である。1年5か月後の開校に向け、全一審力を入れていくのが、今日話題になっている図書館機能である。棚や図書を読むスペースのみでなく(図書の内容も充実したい。まだ財政当局の了解をもらっていないので確約ではないが、方向性としては全部新品のきれいな本を子ども達に提供したい。古い本がためなわけではないが、子どもたちが手に取って見なくなる本、読みたくなる本をしっかり区分しながら身近に置く環境づくりが我々の責務だろう。</p> <p>(傍)新しい建物に目が行きがちであるが、ハード面のみではなくソフト面も含めて教育委員会としてはいろいろと力を入れていくということである。(下線=引用者)</p> <p>新設校であっても、特定の学校だけ「全部新品」というのは、理解できない。どの学校の子どもたちも、新しい本を手にとりたいと願っているのである。すべての学校で、同じように「全部新品」にすることが不可能ならば(間違いなく不可能であろう)、にじの丘学園においても、関係の小2中の図書館から利用可能な図書があれば、利用すべきである。すべての学校図書館の整備、充実と配慮した予算執行が、行われなければならない。教育行政は、基本的に平等に行われなければならない。当該策定委員会委員長の発言でもあり、市民として看過できない。</p>	委員長の発言は、小中一貫校開設を例に、子どもにとって図書の充実や読書活動のための環境整備の大切さを発言したものと考えます。学校図書館の整備に関する参考意見として、引き続き取り組んでいきます。
5	17	P19図表3-1 P20図表3-2	<p>①「幼稚園、保育所等の時期」という表現を「乳幼児期」にしたらどうか。</p> <p>理由 瀬戸市の場合、入園前の子供たちへの本の親しませ方は、他市に比べても進んでいます。ブックスタートに始まり、その乳児たち、あるいは入園前の子供たちが毎週木曜日に、やすらぎ会館3階に来て「みんなで遊ぼう」の中で、職員やボランティア(インルンマザーズ)に読み聞かせしてもらっています。</p> <p>私もお手伝いをさせていただいた折、気づいたことがあります。</p> <p>ブックスタートやすらぎ会館での読みかせ一市立図書館での読みかせという流れがありました。図書館で読みかせ(おはなし会)に来ている子を「みんなで遊ぼう」でよく見かけました。</p> <p>入園前の子供たちへのアプローチは、すばらしいと思います。</p> <p>理由 P20図表3-2でも「幼稚園、保育所等の時期」ではなく「乳幼児期」になっています。</p>	図表3-1は国の計画を引用しているため、このままとします。
	18	P18【152】 「地域施設での読み聞かせ等の実施」	<p>地域施設での読み聞かせ等の実施「に入るかな?」</p> <p>瀬戸では何年も前からラジオセンターで、本の読みかせを行っています。今は、「おはなし橋の会」が担当しています。読む内容は、せと普通の話だったり、その他さまざま。図書館の資料を活用しています。</p>	ご意見のような具体的情報の共有化が重要と考えています。
	19	P23【233】 「子どもの読書活動に関わる人材・団体間の情報の共有化」	<p>情報提供を行ったり研修会を行ったりする。</p> <p>レベルアップするための勉強会を皆さん欲しています。</p>	ボランティア活動の支援に関する参考意見とします。